

広報

my hometown TOMIOKA 2013

とみおか

12
No.614



主な目次 Contents

富岡町復興まちづくり計画策定	02~03
お知らせ	05~08
こんにちは。大玉仮設診療所です！	09
とみおか桜通信	10~15
富岡高校サッカー部、全国選手権出場決定	16~17
とびくす	19~21

避難生活の支援や町の将来のために、富岡町復興まちづくり計画を策定

避難町民に対する生活支援や、富岡町内の土地利用などについて考える富岡町まちづくり検討委員会は、「富岡町復興まちづくり計画」の本年度中の完成を目指し作成を進めています。

つきましては、3ページで説明いたします。

帰還ができない、帰還をしないと考えておられる方、また帰還までしばらくは、避難先で様子を見ようという方に対する生活支援や、コミュニティづくりの支援などについて記します。

含めた沿岸部土地利用などの具体的な議論は、委員会の下に設置した富岡町周辺整備検討部会、土地利用(防災集団移転)検討部会、コミュニティ検討部会でも行われ、親会である委員会に案を上申しました。

町では、それら町民の皆さまの声を盛り込んだ「復興まちづくり計画」を完成させ、今年度中には各世帯にお配りする予定です。

◆町民の意見を集約・反映

今後は、検討委員からの意見を元に加筆修正し、年末を目途に町民の皆さまのご意見を伺う予定です。

これはパブリックコメントと呼ばれるもので、素案を各世帯にお送りし、ご意見がある方に返事を書いていただく方法です。このパブリックコメントで、町への帰還を考えている方は町再生に向けてのご意見や今必要とする支援を、また、将来町に帰還しない、帰還したいが出来ないと考えている方は、避難生活で不足していることや、現在抱えている将来への不安、生活していく上でのご要望などをお寄せください。

◆富岡町復興

まちづくり計画とは

平成32年度までを想定した計画で、避難先で少しでも快適な生活を送っていただくと共に、生活再建をするための支援策や、将来の帰還に向けた富岡町の復旧・復興、まちづくりについて記します。

①避難中の生活

借上げ住宅や復興公営住宅などで生活を継続していただきます。現在、福島県借上げ住宅制度は平成27年3月までの期限となっていますが、町は延長するよう国・県に強く要望しています。

なお、復興公営住宅の整備状況に

◆計画策定の経過

今年度3回行われた検討委員会では、避難生活の支援やJR富岡駅を中心とした将来の町づくり、津波被災地域の土地利用について話し合いを重ねてきました。特に、避難先での町民同士のつながりづくり、富岡駅周辺の機能整備や、防災林設置を

◆富岡町復興まちづくり計画 策定までの流れ



【家賃】

原則として、復興公営住宅には家賃が生じますが、当面は東京電力の賠償対象となる見込みです。避難指示解除後もしくは賠償の対象になりますが、具体的な期間は未定です。

【入居について】

住宅は単身世帯でも入居でき、家族の多い世帯は複数戸を借りられるよう、県や国と協議を進めています。

また、町は県に対し仮設住宅ごとや町単位など、現在のコミュニティをできるだけ壊さない方法での分配を求めています。さらにペットとの同居可能な住宅の設置や、室内に段差の無いバリアフリーの徹底、集会所設置なども併せて要望していますが、募集開始時期や入居者の決定方法などの情報は県から届いておりません。

現在町民の皆さまにご提供できる内容は以上となりますが、今後、新しい情報が入り次第お知らせいたします。不自由を強いられている皆さまの生活が少しでも改善されるよう、町としても県・国に対し強く働きかけてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【いわき市】

	所在地	戸数	形態	入居目標年度
第一期	小名浜・永崎	200	集合住宅	平成26年度
	常磐	50	集合住宅	平成26年度
	計	250		
第二期	平八幡	18	集合住宅	平成27年度
	小名浜大原	60	集合住宅	平成27年度
	小川	60	木造2階建	平成26年度
	計	138		
残りの整備予定数		1,412		

【三春町】

	所在地	戸数	形態	入居目標年度
	三春町内	87	2戸1棟	平成27年度

【大玉村】

	所在地	戸数	形態	入居目標年度
	横堀平	67	主に一戸建て	平成27年度

◆復興公営住宅(災害公営住宅)の状況

【概要】

富岡町民が入居できる復興公営住宅(以下：住宅)は、郡山市、いわき市、三春町、大玉村に整備され、大玉村は村営、他の3市町は県営となります。大玉村の住宅は原則的に富岡町民のみの入居を検討しており、郡山市、いわき市、三春町は富岡町民がある程度集中して入居できます。

また、福島市や会津若松市などにも県営の住宅を整備予定で、少数であれば富岡町民も入居の資格があります。詳しくは、年明け以降に公表見込みの入居募集要項に明記されています。

【住宅様式・戸数】

住宅様式は下記一覧表のとおりで、間取りは主に3LDKで検討しています。

現在、町・県・国は受け入れ自治体と協議を重ね、いわき市内に約1,800戸、郡山市内に約390戸、三春町内に約90戸、大玉村内に約70戸の整備を目指しております。しかし、ここで注意が必要なのが、県営の住宅整備戸数は「富岡町民のみを対象にした数字ではない」ということです。

いわき市で例えると富岡、大熊、浪江、双葉の4町が1,800戸を分け合い、県が各町に必要な戸数を配分することになります。

【郡山市】

	所在地	戸数	形態	入居目標年度
第一期	喜久田	50	集合住宅	平成26年度
	富田	40	集合住宅	平成26年度
	富久山	20	集合住宅	平成26年度
	日和田	20	集合住宅	平成26年度
	安積	30	集合住宅	平成26年度
計	160			
第二期	喜久田	15	集合住宅	平成27年度
	富田	40	集合住宅	平成27年度
	富田	32	集合住宅	平成27年度
	富久山	40	集合住宅	平成27年度
計	127			
第三期	喜久田	20	集合住宅	平成27年度
	富田	40	集合住宅	平成27年度
計	60			
残りの整備予定数		43		

※整備主体は福島県ですが、大玉村のみ福島県が代行となります。

片山さつき参議院議員が来庁 復興に向けた要望書を提出

総務大臣政務官の片山さつき参議院議員が10月28日、富岡町役場郡山事務所を訪れ、宮本町長ら町執行部との意見交換会を行いました。

話し合いの冒頭で宮本町長は、「長期帰還できない現状への対応や遅れている除染などの問題解決が急務であり、それらの前進をお願いしたい」とあいさつし、片山議員に要望書を提出。

片山議員は「政府の対応の遅さが復興や住民支援の妨げになっている。今回の意見交換の内容は、週1回の環境部会へも



宮本町長から片山議員に要望書を提出

フィードバックしたい」と述べ、関係省庁に対する今後の働き掛けを約束しました。要望内容は次のとおりです。

- ① 東京電力(株)福島原子力発電所等の安全対策徹底と着実な廃炉
- ② 除染等の推進及び安全・安心な生活環境の確保
- ③ 避難解除区域等の復興及び再生
- ④ 将来に向けた復興(長期に渡る戦略的な復興施策と手厚い支援)
- ⑤ 確実かつ実情に即した原子力損害賠償
- ⑥ 長期避難者に対する支援

富岡町内で国が初の現地調査 荒廃家屋の実態を確認

富岡町内の荒廃家屋の状況を見る現地調査が11月7日に行われました。これは、復興庁や経済産業省などの政府機関が家屋の荒廃状況を確認し、解体や撤去などの対応策を検討するもので、帰還困難区域を含む3区域にある旅館や家屋に加え、町文化交流センター「学びの森」など町内6カ所を回り、建物の状況を調査しました。

国は、地震によって半壊以上と判定された家屋は解体するとしていますが、半壊未満であっても人が住まないための劣化、放射能汚染や雨漏り、小動物の糞尿など住める状態ではないため、町は国に対し実態の把握を訴えてきました。



雨漏りと小動物の糞尿で荒廃が進む居住制限区域内の家屋

調査に同行した齊藤副町長は「長期避難のため家屋の荒廃が進行し、やむを得ず解体するしかないと考えられる町民が増えている。しかし国が行う家屋解体の対象は、あくまで地震と津波による半壊以上の建物に限定されるなど、現行制度は原発事故に起因する実態に即していない。国はこの現状に目を背けることなく、解体対象家屋の拡大や新たな制度の構築など、当事者意識とスピード感を持って対応してほしい」と述べ、政府に対し改めて法改正や解体除染の必要性を訴えました。



部分的に高線量な場所がある文化交流センター



インフルエンザ予防接種を希望する65歳以上の皆さまへ

町では、今年も65歳以上の方と60歳以上65歳未満で重い障がいのある方に対して、インフルエンザ予防接種の助成を行っています。

▼期間
平成25年10月1日～

12月31日

▼対象者

- ① 富岡町に住民登録のある、接種当日で満65歳以上の方。
- ② 富岡町に住民登録のある、接種当日で満60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に重い障害があり、日常生活が極度に

制限される方(身体障害者手帳1級をお持ちの方)。

▼助成額

全額助成(自己負担なし)
※助成回数は1回に限ります。

▼接種にかかる手続き

〈県内にお住まいの方〉

接種をご希望の方は、事前に町のコールセンターまでご連絡ください。パンフレット、予診票、接種済証を送付いたします。

また、郡山事務所・いわき支所・三春出張所・大玉出張所の窓口でも交付いたします(大玉仮設診療所での接種をご希望の方は、同診療所でお受けください)。

〈県外にお住まいの方〉

原発避難者特例法により、避難先市町村に住まわれている住民の方と同じように接種ができますので、避難先市町村の予防接種担当までお問い合わせください。

また、市町村によって助成額が異なり、自己負担金が生じる場合があります。自己負担が生じた場合には、富岡町より還付いたしますので、健康づくり係ま

でご連絡ください。

健康福祉課 健康づくり係

富岡町表彰式並びに 新年賀詞交換会

平成23年まで実施しておりました「町表彰式・新春祝賀会」を、「町表彰式・新年賀詞交換会」として左記の日程で開催いたします。

▼日時

平成26年1月24日(金)
午前10時～

▼場所

迎賓館グランプラス
(福島県郡山市安積町笹川字雷堂10-3)

▼参加費 無料

▼参加申込方法

任意の様式に参加する方の
①所属団体名 ②職名
③氏名 ④連絡先
を記入し、FAXまたはメールでお申し込みください。

▼申込期限

平成25年12月26日(木)

▼総務課 総務係

▼FAX

02496113441

▼メール

tom100-006@tomioaka-town.jp

障害者控除対象者認定書の交付申請について

障害者手帳などをお持ちでない65歳以上の高齢者で、要介護1～5の認定を受けている方(要支援1・2の認定者は該当しません)のうち、一定の要件に当てはまる方については、申請に基づき「障害者控除対象認定書」を交付します。

確定申告の際にこの認定書を提示することで、本人またはその扶養者が、所得控除(障害者控除)の適用を受けることができます。

※対象年度中に亡くなった方の分も申請できます。

※税申告用の書類のため、身体障害者等の認定とは異なります。

▶控除額

対象となる方	所得控除額
障害者控除(要介護3及び要介護1・2で要件に該当する方)	27万円
特別障害者(要介護4・5の方)	40万円

▶申請方法

申請用紙は、介護保険係に備え付けてありますので、お電話にてお問い合わせください。窓口にお越しになる際は、申請者の印鑑をお持ちください。

また、ホームページ(申請書ダウンロード:福祉・介護)からダウンロードすることもできます。

健康福祉課 介護保険係

国民健康保険 退職医療制度について

長い間、会社などに勤めて退職し厚生年金などの受給資格がある方とその扶養家族の方は、国民健康保険の「退職者医療制度」で医療を受けることになります。

◇一般の国民健康保険との違い

一般の国民健康保険は、国民健康保険税と国からの補助金で運営していますが、退職者医療制度は、国からの補助金の代わりに、以前加入していた社会保険等がお金を出し、国民健康保険を健全に運営していくための制度です。退職者医療制度に加入することにより、国民健康保険加入者全体の保険税軽減にもつながります。ただし、医療費の自己負担の割合及び国民健康保険税の税額については、一般の国民健康保険と同じです。

◇対象となる方

退職被保険者(退職者本人)

- 国民健康保険に加入している方(または、これから加入する方)
- 被用者年金(厚生年金等)の加入期間が20年以上もしくは40歳以降に10年以上ある方で、現在老齢(退職)年金の受給資格のある方。
- 60歳以上65歳未満の方

退職被扶養者(家族)

- 国民健康保険に加入している方(または、これから加入する方)
- 退職者本人と同一世帯に属し、年間収入額(見込み)が130万円未満の方(60歳以上または障がい者の方は180万円未満)
- 65歳未満の方

◇手続きについて

- 届出に必要なもの
 - ・国民健康保険被保険者証
 - ・年金証書(年金手帳ではありません)
 - ・印鑑
- 届出場所
 - ・富岡町役場郡山事務所、又はいわき支所、三春、大玉各出張所
 - ・郵便でも手続きが可能ですので、ご連絡ください。

◇退職者医療制度に切り替えが済んでいる方

現在、退職者医療制度に切り替えが済んでいる方には、紫色の保険証(左上に「国民健康保険退職被保険者証」と印字)を送付しておりますので、手続きは不要です。65歳を迎える方については、保険証の有効期限が誕生日の属する月の末日(誕生日が1日の方は前月末)に設定されていますので、有効期限が切れる前に一般国民健康保険に切り替えた保険証を送付します(手続きは不要です)。

◇町で該当することが確認できる場合

各関係機関から提供される情報に基づき、退職者医療制度に該当することが確認できる方については、町で資格の切り替えを行い、新しい退職者医療制度の保険証を送付します。



図 住民課 国民年金係

年末年始を含む国が実施しない時期における帰還困難区域への立入り(通過含む)について

年末年始を含む冬期間(12月28日から2月中旬の予定)については、路面凍結や大雪による影響を考慮し、原則として「帰還困難区域」への一時立入り(通過を含む)は実施しません。何らかの事情によりやむを得ず行う必要が生じた場合には、町担当まで個別にご相談ください。

【注意】

- ①申請内容の確認、通行証の発行及び郵送期間等を考慮し、立入り予定日の15日前までに申請してください。
- ②年末年始を含む閉庁日には、申請の受付・申請内容の変更(立入車両、立入者等)の受付及び通行証の交付を行うことができませんので、あらかじめご了承ください。
- ③避難指示区域の見直しに伴い、町が各世帯に交付した「立入り証」(青色のラミネート加工されたもの)では、「帰還困難区域」へ立入りを行うことはできませんので、ご注意ください。

【申請等の方法】

- ①町内の「帰還困難区域」へ一時帰宅する場合
- ②町内外の「帰還困難区域」を通過して、町内の「避難指示解除準備区域」又は「居住制限区域」への立入りを行う場合
 - 例・自宅が「居住制限区域」であり、南相馬市へ避難している。
- ③自宅が町内の「避難指示解除準備区域」又は「居住制限区域」であるが、町内の「帰還困難区域」にある実家(墓地)へ立入りを行うこととはできませんので、ご注意ください。
- ④自然災害の発生や気候状況の急激な悪化が見込まれる場合は、立入りの遠慮をお願いすることがあります。
- ⑤申請のない「帰還困難区域」への立入りは、認められません。

りを行うことはできませんので、ご注意ください。

をを含む)へ一時帰宅する場合(4)通勤、通院、催事(冠婚葬祭等)のために、町内外の「帰還困難区域」を通過する場合(特別通過交通制度)

例・いわき市へ避難しているが、南相馬市の会社へ通勤している。

※「帰還困難区域」内は、通行できる道路及び時間が限られます。

※雇用証明書、通院証明書等の裏付けが必要となります。

※対象となる事項が限定されますので、申請すれば通過できるわけではありません。

◆2月以降の一時帰宅については後日、国が委託するコールセンターから案内が送付されます。

◆事業者等の公益目的の一時立入りについても、住民の一時帰宅同様、年末年始を含む閉庁日には、申請の受付、申請内容変更(立入車両、立入者等)の受付及び通行証の交付を行うことができません。

【他町への相談】

自宅が町内の「避難指示解除準備区域」又は「居住制限区

町内共同墓地等の除染・環境整備について

町民の皆さまより要望がありました共同墓地等の除染・環境整備事業について、現在国と調整中です。

この事業は、町民の皆さまが安心して墓参りができるように除染作業及び墓石の移動、仮置き等の作業を環境省と町が一体となって実施いたします。また、この事業が開始される際には、広報紙等でお知らせいたしますので、町民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

- 除染(環境省)
 - ⇒除草、堆積物の除去、墓石のふき取り、覆土等
 - 墓石の移動、仮置き(復興庁が町に委託)
 - ⇒敷地内に散乱した墓石や崩れ落ちる危険がある墓石を移動させ、除染後、個人所有部分の安全な場所に仮置き
- ※墓石のひび割れ、破損等の修復や固定(接着等)は行いません。

図 生活環境課 環境衛生係

また、他町の「避難指示解除準備区域」又は「居住制限区域」に立入りをする場合についても、立入り先の自治体へ相談してください。

▼各自治体連絡先

自治体名	担当部署	電話番号
大熊町	環境対策課	0120-26-3844
双葉町	住民生活課	0246-84-5204
浪江町	復興再生事務所	0240-34-2111

がんばるあなたを応援します
富岡町奨学資金制度

町では、経済的理由により就学が困難な方を対象に、奨学資金を無利子で貸付しています。お気軽にご相談ください。

▼対象となる方

① 大学や短大、専修学校(修業年限2年以上)、高等専門学校、高等学校に在学している方で、次の要件に該当する方。
② 品行が正しく、学術にすぐれ、身体が強固であること。
③ 合格当時、町内に引き続き5年以上住所を有していること。

④ 経済的理由により就学が困難と認められること。

⑤ 同種の奨学資金の貸与、給付を受けていないこと。

▼奨学金・貸与期間

区分	奨学金(月額)	貸与期間
大学(短大を含む)	自宅通学 20,000円以内	正規の 就学期間
専修学校	自宅外通学 50,000円以内	
高等専門学校	10,000円以内	
高等学校		

⑤ 世帯全員の所得が町奨学資金貸与条例施行規則に基づく基準以下であること。
※連帯保証人(2名)が必要となります。

▼申請期間

平成26年3月3日から4月18日まで(その後は毎月20日が期限になります)。

※申請人の面接を行いますので、申請を希望する方(学生)は教育委員会までおい

てください(面接が難しい方はご相談ください)。

※申請用紙等は教育委員会(旧法務局郡山事務所)に備

え付けてあります。

町ホームページからダウンロードすることもできます。

※奨学生の方の住所や氏名が変わった場合は必ず、富岡町教育委員会までご連絡ください。

富岡町教育委員会 教育総務課

与を受けた奨学資金の全額を年1回又は年2回で返還するように なります。

自衛官を募集します

▼応募資格

平成26年3月1日現在又は同年4月1日現在で18歳以上27歳未満の日本国籍を有する男子で、自衛隊法第38条第1項に規定する欠格条項に該当しないもの。

【自衛官候補生(男子)】

平成26年11月10日(金) 富岡町自衛隊福島地方 協力本部募集課

▼受付期間

平成26年11月10日(金) 富岡町自衛隊福島地方 協力本部募集課

▼試験科目

筆記試験(国語、数学、社会及び作文)、適性検査、口述試験、身体検査

▼試験期日及び試験予定会場

平成26年11月10日(金) 富岡町自衛隊福島地方 協力本部募集課

▼試験期日及び試験会場

平成26年11月10日(金) 富岡町自衛隊福島地方 協力本部募集課

▼試験期日及び試験会場

平成26年11月10日(金) 富岡町自衛隊福島地方 協力本部募集課

▼応募資格

中卒(見込)17歳未満の男子

▼採用時期

平成26年3月下旬又は同年4月上旬

▼採用時期

平成26年3月下旬又は同年4月上旬

問い合わせ先

- 富岡町役場郡山事務所・富岡町議会事務局
〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5 FAX 024-961-3441
- 富岡町教育委員会
〒963-8025 福島県郡山市桑野2丁目1-1 FAX 024-953-6304
- 栢葉分室(復旧課・復興推進課)
〒979-0515 福島県双葉郡栢葉町大字上小崎字小山6-2 FAX 024-25-8254
- 富岡町役場いわき支所
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15 福島県いわき合同庁舎南分庁舎2階 FAX 0246-88-1975
- 富岡町役場三春出張所
〒963-7719 福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1 FAX 0247-62-0901
- 富岡町役場大玉出張所
〒969-1302 福島県安達郡大玉村玉井字台45-1 FAX 0243-48-1147
- ※上記への連絡はコールセンター ☎0120-33-6466まで

- 富岡町役場連絡所(下郡山集会所)
〒979-1132 福島県双葉郡富岡町下郡山字真壁327-1 ☎ 080-5743-5409・080-5743-5410 FAX 0240-25-8804
- 大玉仮設診療所
〒969-1302 福島県安達郡大玉村字横堀平158-10 ☎ 0243-48-4710 FAX 0243-48-4710
- 財団法人富岡町体育協会
〒963-8025 福島県郡山市桑野2丁目1-1 ☎ 024-983-8570 FAX 024-953-6304
- NPO法人さくらスポーツクラブ
〒963-8025 福島県郡山市桑野2丁目1-1 ☎ 024-983-5299 FAX 024-983-5299
- 富岡町社会福祉協議会
〒963-8041 福島県郡山市富岡町字若宮前32 高齢者等サポート拠点施設内 ☎ 024-935-3345 FAX 024-935-3346
- おだがいさまセンター
〒963-8041 福島県郡山市富岡町字若宮前32 高齢者等サポート拠点施設内 ☎ 024-935-3332 FAX 024-935-3334



私たちのお医者さん

こんにちは。
大玉仮設診療所です!

第9回 「冬の心構え」
新妻 学 医師(新妻歯科医院)



冬の足音が聞こえる季節となりまして、皆様風邪などひいてないでしょうか?
歯科とは関係ないですが、私は幼いころから毎年風邪をひき必ずと言っていいほど40度前後の熱が出ていました。学生の頃は休めばよかったのですが、自分の歯科医院を開設してからは、いくら風邪をひいて熱が出ようと休めませんでした。
一番覚えていているのは、40度を越えていたと思うのですが、熱で意識がもうろうとしてやっとの思いで午前中の診療を終えましたが、このままでは午後親戚の病院で点滴を打ってもらって診療をした記憶があります。
そして、その後も毎年必ず風邪をひいて熱が出ました。震災後も同じで何か予防策はないかと色々考えたところ、まず市販の風邪薬か鼻炎の薬を必ず持っていて鼻がむずむずしたり、のどに違和感があった時はすぐに飲むようにしてしまいましたがそれでも駄目でした。

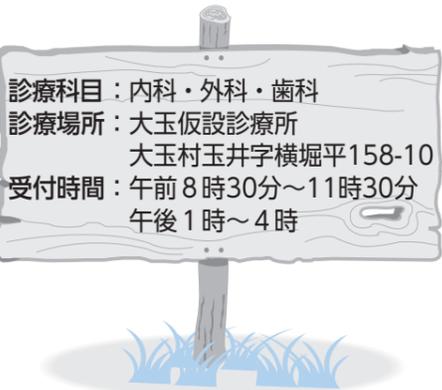
思い起こすと風邪をひいたときのどに違和感が多く、たんが出ます。そこで改めて考えたのがのどを冷やさないう、つまり「のどを冷やさなければいいんだ、温めればいいんだ」と!それで外出するときは必ずマフラーをするようにしました。するとここ十年以上風邪をひかなかったことがなかったのに、なんと今年の冬は一度も熱が出ませんでした!
とにかくちよつとした外出でも多少気温が高くてままして汗をかいてもマフラーをしてたおかげだと思っっています。
今年の冬は皆さんもやってみてください、ただし自己責任でお願いします(笑)。

最後に正しい歯磨きをして、さらに風邪の予防をして、寒い冬を乗り切りましょう。
さん付けて磨くとそれも磨き方を間違えと歯が削れます!それと硬い歯ブラシも注意してください!何度でも磨いて良いと思われま(ただし、正しい磨き方で。ちなみに磨き方を習ってください!)。

診療日

曜日	診療科目	担当医師	備考
月	内科・外科	佐藤正憲	午後3時まで
火	歯科	新妻 学	
水	歯科	新妻 学	
木	内科・外科	井坂 晶	
金	内科	堀川章仁	

☎ 0243-48-4710



TOMIOKA 桜通信

第20号

東日本大震災と原発事故により、私たちはふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」では、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



笑顔を決やさずを心がけているという佐藤さん

地震発生直後に襲来した大津波で、私たちの毛萱行政区では、33世帯中20世帯の家屋が流されました。私の自宅も1階部分が浸水し、大きな被害を受けました。家族と共にリフレ富岡へ避難し、その夜は行政区内に住む皆さんの安否確認をするため町内の避難所を回りました。

また、陽が沈む頃、皆さんと一緒に高台から行政区の変わり果てた姿を見ました。翌日、日の出とともに視界に入る風景にしばらくぼう然としましたが、その場に居た全員



で、地区の高台移転など復興に向けて動いていこうと話しました。しかし翌朝、避難指示が伝えられ、復興にむけた思いは砕け散ってしまいました。

私たち一家は、バスで町を離れ一時避難所に入りましたが、県内外にいる親類や知人のご支援により、茨城県や群馬県内の各所でお世話になったあと、4月末には郡山市内の借上げ住宅に移りました。

被災当時、南相馬市立病院に入院していた母は、避難区域拡大により他の施設へ移送され、行方が分からなくなっていました。3月下旬に新潟県内の病院から母の危篤を知らせる連絡があり、急いで病院に駆け付けました。幸い、その後快方に向かい、現在は四倉の施設で生活しています。

一方、父は避難後、体調不良を訴えるようになり、何度か入院を繰り返しました。原発事故後の不安定な医療環境のもとで疾患の発見が遅れるなどしたため、今年7月に亡くなりました。原発事故による避難が無ければと思うと残念でなりません。



まちの思い出

いわき市に移って以降、市内で家族が落ち着いて生活できる住居を探しました。今年の秋、声を掛けていた不動産屋から空き物件が出たと連絡があり、私たちの望む条件に近いものであったため購入しました。年末までにリフォームと引越しを終え、故郷ではありませんが、震災後3度目の年越しは母と共にいわきの自宅で過ごせそうです。

避難後、数ヶ月で行政区内の全世帯と連絡がつかいましたが、約7割の世帯がいわき市内に住んでいます。当行政区は避難指示解除準備区域となり、故郷への距離は近づいたようにも感じられますが、津波被災地域のため自宅に戻れるという状況はありません。また、がれきの仮置場の受入れにも同意しました。震災前と同じ場所での生活再建は難しいとはいえ、震災後も年2回程度の集まり場を持つなど、地区の絆は保ち続けたいと思っています。



まちの思い出

毛萱行政区長。地区内ほとんどの世帯が津波で被災。現在、母はいわき市内の老健施設、本人と妻は同市内の住宅で生活している。



福島県 いわき市

有限会社ジャムズコレクション 代表 大内 功次郎さん (中央)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



やっと事業再開の目処がつかしました

被災当日、榎葉町内で経営する会社で、その日に納入を予定していた車両の最終整備を行っていた最中に地震が発生しました。車は整備用リフトの上であり、崩れてきた天井板から「体当たり」で車を守ろうとした結果、命に別状はなかったもののけがを負い、頭から血まみれになってしまいました。幸い、この車は無傷で整備も完了したため、同日夜10時過ぎ無事に納車することができ、会社も建物、敷地は地震で被害を受

けましたが、停電することはありませんでした。会社は国道6号線に面しているため、地震で損壊した道路を無理に走ってタイヤがパンクしたという方が多く訪れました。困ったときはお互様で非常事態のため無償で対応し、作業は夜遅くまで続けました。富岡町内の自宅は停電で暖も取れない状態だったので、家族とともに会社で過ごしました。

翌朝、自宅に戻りましたが避難指示により町を離れることになりました。お客様や知人にお力添えをいただきながら県内外を転々とし、避難から約2ヶ月後いわき市内での生活を始めました。しかし、その約1年後のある日突然、家主から住宅を売却したため立ち退きするように通知されました。ようやく落ち着いてきた頃だったため気持ちも相当落ち込みました。幸い空き物件が見つかり今に至っています。

避難後、榎葉の会社は営業できなくなりましたが、避難中は車両の貸し出し業務など継続できるものは続けていました。震災以前と



福島県 郡山市

佐々木 千代子さん (下千里)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



孫の描いた絵とともに

避難指示を受け、最初に目指したのは川内村貝ノ坂地区にある実家でした。同村の東部に位置するこの地区は、第一原発から20キロ圏内にあったため、夜には避難対象となりました。その後、幼い孫たちの安全を第一に考え、郡山市内に住む弟一家のところに移動しました。14日には新潟県柏崎市に移り、現在も夫や子どもたちとその家族が生活しています。

柏崎市に向かう際、知人らも含め、最大12世帯の大移動となったことも

ありました。移動中、私たちいわきナンバーの「車列」7台が給油している、通りがかりの人が車を停めて「がんばって!」と声をかけてくださり、嬉しさのあまり涙が流れました。

柏崎では、行政をはじめ地域の皆さんには本当に良くしていただきましたが、環境が変わったためか血圧が上がリ、ストレスが主な原因とみられる高血圧症の診断を受けました。また、夕方5時に同市の防災行政無線から流れる曲「ふるさと」を聴くと、望郷の念は強くなるばかりでした。子どもたちの近くに居ると安心ではありましたが、昨年6月、郡山市内の借上げ住宅に移り、毎月1週間程度は柏崎市に滞在しながら生活しています。

私は長年、バレーボールをしていました。とはいえ、子どもの頃からというわけではなく、始めたのは32歳の頃、バレーボールの国体選手だった弟に勧められたためでした。一般女子で全国大会に出場したこともあり、娘たちもスポーツ少年団のチームで活動していました。子どもが大きくなったあとは、親子で富岡町の

家庭婦人バレーボールチームに所属し、私はその代表を務めていました。県内に戻ったあと、さくらスポーツクラブから声がかかりましたが、多くの町民が集まるいわき市内での活動ということもあり、参加するのは難しいと感じています。また、郡山市でもバレーボールのメンバー募集が行われていますが、市内には多くのチームがあり、それぞれの考え方やルールは同じでも勝手が違えば気が引けるかなといったところです。

私は、10人兄弟の長女として子どもの頃から妹や弟たちの面倒をみてきました。そのためか、じつとしていことが苦手で、常に何かをしていると落ち着きません。夜の森で美容室を営んでいた妹が借上げ住宅の近くで開業した店の手伝いをしたり、姪たちの学校の送り迎えや、長女からネイルアートを教えてもらったり、時には、バレーボールの仲間と会ったりしながら日々を送っています。

富岡町家庭婦人バレーボールチーム代表。夫、長男、義母と同居していたが、避難後、仕事等の事情で別々の生活を強いられている。

同じようなサービスを提供できる環境にはありませんでしたが、お客様のご理解と激励のおかげで、何とか続けさせていたおかげです。また、物件の確保にも目処がついたため、いわき市内での本格的な事業再開を決めました。当初、榎葉町内が富岡町より早く避難指示解除準備区域となったため、同所での再開を考えましたが、大切なお車をお預かりする以上、お客様には安心して頂く必要があるため、いわき市内に拠点を設けると意思を固めました。

最近、ようやく趣味のゴルフを再開しました。被災前、町内にあるゴルフ場で友人たちとともによくプレーをしましたが、冬場でも雪は降らず料金も安かったため、いつでも気軽にコースに出られました。今では懐かしく思うしかありませんが、家族のためにももう少し頑張っていきたいと思えます。

自宅は富岡町だが、榎葉町内で自動車修理販売を営んでいた。現在、いわき市内で妻、娘、孫、愛犬とともに生活している。

橋本 徹さん (本町)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



新聞記者として伝え続けるのが使命です

「原発の近くにいた新聞記者の一人として、(原発の)津波に対する脆弱性を指摘できなかったか」。私は東日本大震災、特に、原発事故に対して、忸怩(じくじ)たる思いがあります。川内村議会の取材に向かっていたところ、地震に遭遇しました。大きく長い揺れに、それが本場に地震の揺れなのだろうかど錯覚してしまうほどでした。揺れが落ち着いたのを見計らって、富岡町に向かいました。道中、川内村内で地震による被害はあまり見受けられませんでした。富岡町内に入り、防災無線で大津波警報の発表に伴う

避難が呼びかけられる中、道路や家屋などの損壊が視界に入るようになりました。毛萱や駅前方面が津波のため水没した様子は、記者として書かねばならない、撮らねばならないことすら忘れさせてしまうほどの大きな衝撃でした。私は榊葉町出身で、大学卒業後、福島民友新聞社に入社しました。本社などでの勤務を経て、平成19年に富岡支局へ異動となり、双葉警察署の管轄内の町村で取材と営業活動に取り組んでいました。地震発生後は、妻子を榊葉町にある実家に避難させました。夜9時半ごろに取材を切り上げ家族のもとに向かい、翌3月12日の朝に避難指示が出されたため、両親や妻子と共に川内村へ向かいました。同村に家族を残し、富岡方面の取材に向かおうとしましたが、途中で警察官に制止されたため、村内で避難関係の取材を行いました。すぐに服用するようにとヨウ素剤が配布される中、1号機の水素爆発。航空機の衝突にも耐えるといわれている原子炉建屋が吹き飛んでいる様子をテレビで見ました。その後、会社から本社に一時退避するようにとの連絡を受け、妻らと共に福島市内にあ

る妻の実家に身を寄せました。現在、私たち一家は福島市内、両親はいわき市内でそれぞれ生活しています。福島市に移って間もなく、県災害対策本部の担当となりました。一昨年5月、警戒区域設定後初めてとなった川内村で行われた一時立入りに取材で同行した時には、同じ双葉郡の人間として何とも言いようのない気持ちになりました。震災前に原発を視察した時「津波が来たらどうなるのか」と考えたことはありました。しかし、多重防護がなされているのだから放射性物質の外部放出はないだろうと思っていました。東電による原発のトラブル隠し以降、取材を通して同社の「変わろうとする」対応、体質をつぶさに見てきたつもりです。ただ、原発の安全神話で盲目となっていた部分があったことは否めません。今後は、この事故と避難の現状など「被災の現実」を迅速、的確に伝え続けていきたいと思っています。また、東電が「真に変わっていくには」を考え、発信していきたいです。

佐藤 潤一さん (中央)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



ふるさとに最も近い店舗に勤務しています

私は南相馬市にあるあぶくま信用金庫本部に勤務していましたが、被災当日は業務で富岡支店におり地震に遭いました。揺れがおさまればらくして各自解散となったため、自宅に向かいました。両親と偶然訪れていた叔母夫婦は無事でした。翌朝、避難指示が出ていると妹に起こされ、何がどうなっているのか判らないまま親類らとともに川内村へと向かいました。川内小学校に身を寄せましたが、午後には原発1号機の爆発を知り、親類には幼い子供

もいたため安全を考えてその日のうちに郡山市内に向かい、1週間後には東京都内へ移動しました。震災発生から約2週間後、勤務先から召集の連絡があり、平日を南相馬で過ごし、土日は東京に戻る生活をしていました。一昨年4月中旬からは、いわき市内で暮らしています。私はその後6月下旬に結婚しましたが、被災当時、妻とは交際中でしたが、妻は大熊町在住で私たちと同じように避難したため、約1週間ほど連絡がとれず非常に心配しました。妻も家族と共に県内外の避難先を経て、4月上旬にはいわき市内に来ていました。世間では「震災婚」などと言われておりますが、当時は震災直後の混乱が続いていたため結婚式は挙げていません。結婚後、私たち夫婦はいわき市内のアパートで暮らし始めましたが、現在は地震で被害を受け建て直した母の実家に4世代で生活しています。避難後、住み慣れた町を追われたストレスのためか元気の無かった両親は、孫と暮らすようになって少しは気持ちよくなりました。祖母にとって

も、震災が原因とはいえない思いがけない娘(私の母)夫婦や私夫婦との同居、そしてひ孫の誕生は気持ちの上で安心につながったのかなと思っています。私は一昨年7月から広野支店に配属されています。配属当初、広野町は緊急時避難準備区域に指定され、多くの町民が避難していましたが、多くの皆さんが避難を続けているため、従来のお客様のご来店は被災前の水準には至っていません。初めのうちは、避難先が遠いため解約したいといったお客様が多く、もうお付き合いがなくなるのかと寂しく思うこともありましたが、今は復旧復興関係者の皆さんや一時立入の道中に立ち寄ってくださるお客様が多くなっています。今後も仕事を通して、皆さんと地域の復興のお手伝いを続けていきたいと思っています。

あぶくま信用金庫広野支店に勤務。
被災後に結婚し、現在いわき市内で妻、子2人、両親、祖母と暮らしている。

逆境を乗り越えつかった**全国切符**

福島県高校サッカー選手権 富岡高校が5年ぶりの優勝

快晴の青空が広がる11月2日、福島県高校サッカー選手権大会決勝の舞台となった、鏡石町鳥見山陸上競技場の選手控室。大一番を迎えた選手たちの、自信に満ちた明るい笑顔が印象的だった。試合開始直前、佐藤弘八監督が静かに話し始めると彼らの表情は一気に引き締まる。

午後零時10分、運命のキックオフ。ピッチの上で富岡高校の青いユニフォームが躍動した。全国を賭けた相手は最大のライバル尚志高校。序盤から押し気味に試合を進めた富岡高校は、前半34分にMF黒沢選手がフリーキックで先取点を上げ、後半37分にはFW内山選手が貴重な2点目を奪う。

対する尚志高校も後半39分に1点を返すが、富岡高校は必死のディフェンスでその反撃を封じる。そして鳴り響く試合終了のホイッスル。スタンドから声援を送った在校生や保護者、多くの町民から歓声が沸き起こり、富高イレブンはピッチの上で喜びを爆発させた。

富岡高校サッカー部は震災後、同女子サッカー部やゴルフ部と共に、福島市の福島北高校サテライト校に籍を置いた。しかし専用できる練習場は無く、学校の駐車場や付近の広場など、不自由な環境ながら自分たちで工夫し、ひたむきに練習に励んできた。主将のGK高瀬凌平選手は「富岡町民の皆さんの応援が力になった。全国大会までの準備期間を大切にし、今までやってきたことをすべて出せるよう試合に臨



みたい」と前を見据える。選手たちの活躍と諦めない姿は、原発事故避難により県内外4カ所に分散した富高生や、多くの富岡町民に明るい話題と大きな希望を届けた。

全国高校サッカー選手権の初戦は12月31日、千葉県ゼットエーオリプリスタジアムでの愛媛県代表・松山商業高校戦。5年ぶりの大舞台で、選手たちは更なる感動、そして困難を乗り越える力を届けてくれるだろう。



県大会優勝、そして全国大会へ向けて

富岡高校サッカー部監督 佐藤弘八

震災と原発事故で、我々は富岡町を離れなければならず、多くの物を失いました。それでも関係者のご理解とご協力により富岡市内にて活動を再開させていただき、サッカーができることや多くのご支援に感謝しながら生活を送っています。

現在の選手の殆どが富岡町で生活しておらず、校舎や人工芝のピッチには富岡町を離れなければならず、多くの物もありません。しかし富岡町や富岡高校への思いは強く、今回の優勝で皆さんが元気になってもらえたら幸いです。

全国大会でも富岡町民や多くの方々に勇気と感動をお届けできるように頑張ります。

地元住民と富岡町民が交流 秋深まる大玉村でうまいものまつり

大玉村の観光・物産をPRし、生産者と消費者の交流を目的とした「おおたまうまいもの祭り」が10月20日に大玉村ふれあい広場で行われ、多くの人々が深まる秋の一日を楽しみました。

会場には地場産品などのテントのほか、富岡町うまいものPRコーナーも設けられ、町民有志の皆さんが作った「さんまのつみれ汁」が来場者に振る舞われました。この日はあいにくの雨模様となりましたが、富岡町のコーナーに立ち寄った皆さんは「体が温まり美味しいです」と言いながらつみれ汁に舌鼓を打っていました。



浜の味、を来場者に提供した町民有志の皆さん



肌寒い日につみれ汁は大好評

元気な富岡を届ける、よさこいの舞 杉戸町産業祭



迫力ある舞を披露



多くの人々が訪れた富岡町のブース

埼玉県杉戸町の産業祭が11月3日、同町の道の駅アグリパークゆめすぎとにおいて行われ、地元商・工・農産物の展示即売や模擬店出店など、多くの人で賑わいを見せました。

多彩なショーが繰り広げられたステージイベントには、昨年引き続き「チーム富岡さくらYOSAKOI」の皆さんも出演。富岡の元気を届けようと躍動感あふれる演舞を披露し、客席を埋めた観衆からは大きな拍手が送られました。

また、会場内には富岡町のブースが設けられ、タイアップした双葉郡近隣各町村の地場産品などが販売されました。

広報とみおか 1月号発行についてのお知らせ

毎月第一金曜日に通常版、第三金曜日にお知らせ版を発行しております広報とみおかですが、平成26年1月は合併号として1月17日(金)に発行いたします。皆さまのご理解をよろしく願いたします。

若い力が絆というタスキをつなぐ 第25回市町村対抗ふくしま駅伝

平成元年の初開催から、四半世紀の歴史を刻んできた市町村対抗ふくしま駅伝。今年は全59市町村53チームが出場し、古里の名誉と自らのプライドをかけたランナーたちが、白河市から福島市までの全16区間、95.1kmを駆け抜けました。



大会前日、開成山陸上競技場で最終調整を行う選手の皆さん



花の1区 藁谷希理選手



4区 飯土井 選手



6区 斉藤威 選手(左)



福島県庁にゴールするアンカー渡邊智幸選手

11月17日午前7時40分。快晴の白河市総合運動公園陸上競技場に号砲が鳴り響き、毎年数々のドラマを生んできたレースの幕が切られて落とされました。富岡町は昨年同様、中・高校生を中心にチームを編成。沿道に詰めかけた町民の応援を背に、晩秋の福島路を力走し、総合37位・町の部16位で大会を終えました。ご声援をいただいた町民の皆さま、ありがとうございました。



応援のばりを立て選手の通過を待つ町民の皆さん



2区 高嶋道 選手

区 間	選手名	所 属
1区	藁谷 希理	磐城桜ヶ丘高校1年
2区	高嶋 道	富岡高校2年
3区	三瓶 湧大	平野中学校3年
4区	飯土井 司	自衛隊福島
5区	村上 紀康	福島高専2年
6区	斉藤 威	自衛隊習志野
7区	関根 健	中央台北中学校2年
8区	山田 智紀	中央台北中学校2年
9区	吾妻 咲弥	猪苗代中学校3年
10区	芳賀 祐介	富岡町体協陸上部
11区	堀本真理子	郡山健康科学専門学校
12区	坂本 正喜	白河広域消防
13区	品川 太郎	いわき秀英高校2年
14区	林 達也	富岡高校2年
15区	高橋明日香	猪苗代中学校2年
16区	渡邊 智幸	福島大学附属小学校教員



レースを終え、晴れやかな表情の選手・スタッフの皆さん



離れているからこそ心を一つに ゲートボール県大会V



優勝に輝いた富岡町チーム

10月6日、南会津町びわのかげ運動公園で開催された第23回福島県市町村ゲートボール大会において、富岡町チームが5年ぶりの優勝を飾りました。

この大会には、本県の市町村36チームが出場。決勝では13-10の接戦の末、棚倉町を破り優勝を決めました。

現在、富岡町チームのメンバーは郡山市やいわき市などに避難しており、集まって練習をする時間がほとんどありません。しかし、このような状況だからこそチームが1つになり、素晴らしい結果につながりました。富岡町チームは、平成26年度に福島県で開催される東北地域選手権大会に出場します。大和田洋主将(上郡)は「県代表として精一杯頑張りたい」と抱負を語りました。

未来へ羽ばたくアスリート 全国障害者スポーツ大会 銅メダル獲得

第13回全国障害者スポーツ大会が10月12日からの3日間、東京都駒澤オリンピック公園総合運動場陸上競技場で行われ、福島県代表としてフライングディスク競技に出場した、岡田優児さん(大菅)がアキュラシー部門で銅メダルを獲得しました。

今回岡田さんは、ゴールを狙ってディスク(プラスチック製の円盤)を投げるアキュラシーとディスクの飛距離を競うディスタンスの2種目に出場。どちらも集中力が勝敗の決め手となる競技です。

10月18日に富岡町役場郡山事務所を訪れた岡田さんは、宮本町長に大会の結果を報告。「皆さんの応援のおかげでメダルが取れて嬉しいです。これからも頑張って、練習に励みます」と喜びの言葉を述べられ、宮本町長は「素晴らしい成績で、富岡町の障がいを持つ方の励みになります」と活躍を讃えました。



固く握手を交わす宮本町長と岡田さん

親子交流会で子どもと一緒にリフレッシュ



今回は2歳から4歳の子どもたちが参加

11月1日、おだがいさまセンターで親子交流会が行われ、企画されたミニ運動会で思いきり体を動かして遊びました。

今回は7組の親子が参加。この親子交流会では、同行している保健師や保育士、臨床心理士へ育児相談もでき、子育て世代の強い味方となっています。

長男の有真くんと参加した遠藤たく美さん(新夜ノ森)は「子どもと一緒にリフレッシュでき、また子ども同士のやり取りが見られ、友だちもできるので毎回楽しみにしています」と語られました。

～たくさんの笑顔で明日へのトビラをひらく～ 富岡町立幼稚園・小学校・中学校三春校 合同学習発表会

富岡町立幼稚園・小学校・中学校の合同学習発表会が11月2日、三春町の同校三春校で行われました。

今回のテーマは、小学校が「たくさんの人に笑顔をとどけよう」、中学校が「明日へのトビラをひらくのは?今でしょ!ここでしょ!!僕らでしょ!!」。幼稚園児が可愛い歌とお遊戯、小学生が低中学年と高学年に分かれての劇や朗読・合奏、中学生が合唱と全校体育、職場体験発表を披露しました。児童生徒が中心となって作りあげたというこの手作りの発表会は、終始あたたかい笑顔に溢れていました。

また、中学3年生が「生き方について考えよう」をテーマに3年間の総合学習で学んだことをまとめ、生涯学習の大切さを発表しました。



中学生による発表「職場体験で学んだこと」



小学校低中学年劇「楽しい世界へレッツゴー!」



中学生の全校合唱「富岡わがまち」



ももいろクローバーZの「ココ☆ナッツ」を踊る園児

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日:平成25年11月12日(曇り)~13日(晴れ)

No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm
1	下千里消防屯所	11/12	3.10	5.14
2	上千里消防屯所	11/13	2.04	2.45
3	杉内消防屯所	11/13	2.40	3.53
4	第二工業団地入口	11/13	4.81	6.36
5	高津戸集会所	11/12	5.53	8.38
6	富岡第二中学校東側	11/12	2.03	2.51
7	新夜ノ森集会所	11/12	6.78	9.57
8	夜の森公園	11/12	3.18	6.49
9	松の前待避所	11/12	8.82	10.70
10	小良ヶ浜集会所	11/12	5.64	6.59
11	町境(小良ヶ浜地区)	11/12	6.96	10.60
12	深谷消防屯所	11/12	5.66	6.71
13	富岡町営野球場	11/13	1.00	0.70
14	観陽亭前	11/13	1.08	2.02
15	富岡合同庁舎西側	11/13	2.63	3.02
16	富岡養護学校	11/13	3.78	8.05
17	老人福祉センター	11/12	7.57	12.40
18	夜ノ森駅	11/12	6.81	7.40
19	王塚集会所	11/12	5.62	7.29
20	諏訪神社前	11/12	3.37	3.67
21	上本町消防屯所	11/12	3.01	3.65
22	上本町集会所	11/12	2.45	2.97
23	リベラルヒルズ入口	11/13	2.75	4.63
24	赤木集会所	11/13	2.23	4.32
25	上郡山集会所	11/13	1.83	2.38
26	太田集会所	11/13	1.20	1.54
27	原下消防屯所	11/12	1.15	1.58
28	富岡駅	11/13	0.69	1.77
29	清水消防屯所	11/13	1.99	2.46
30	役場	11/12	除染中	除染中
31	浄化センター	11/13	0.82	1.02
32	毛萱集会場	11/13	0.51	0.45
33	富岡保育所	11/13	2.00	3.15
34	中央児童館	11/12	2.44	3.19
35	栄町駐車場	11/13	1.89	2.58
36	岩井戸消防屯所	11/13	1.76	2.51

No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm
37	小浜住宅団地内公園前	11/13	3.55	5.76
38	双葉環境センター	11/13	2.09	2.58
39	NHK電波塔入口(浜街道)	11/13	3.58	4.42
40	深谷集会所	11/12	5.04	5.57
41	赤坂神社前	11/12	5.73	8.39
42	太平洋フリーディング前	11/12	11.40	16.20
43	みよし前交差点	11/12	11.70	24.20
44	富岡自動車学校前	11/12	6.74	11.90
45	リフレ富岡	11/12	4.31	5.21
46	東洋育成園前	11/13	4.24	6.86
47	富岡インター駐車場	11/13	3.93	5.07
48	上手岡児童館	11/12	2.86	3.78
49	下千里ライスセンター前	11/12	3.06	5.52
50	舘山荘前	11/12	3.77	5.11
51	夜の森つつみ公園	11/12	4.86	4.96
52	総合運動場東側駐車場	11/12	5.23	7.67
53	華の樹前	11/12	5.95	7.36
54	宝泉寺前	11/12	2.97	5.04
55	国道6号第二原発入口前	11/13	1.27	2.01
56	猪狩スタンド前	11/13	1.50	2.64
57	なべや駐車場前	11/12	1.19	2.18
58	大東銀行富岡支店前	11/12	2.29	2.90
59	富岡漁港	11/13	0.55	0.55
60	サンライズイン富岡前	11/13	1.01	2.06
61	福島富岡簡易裁判所前	11/13	2.56	4.28
62	ヨークベニマル富岡店前	11/13	2.39	3.67
63	今村病院前	11/12	5.71	7.54
64	福島銀行富岡支店前	11/12	1.78	3.39
65	龍台寺前	11/13	2.31	4.45
66	清水団地前	11/13	2.28	3.15
67	猪狩電気通信工業前	11/13	2.41	3.55
68	上郡消防屯所	11/13	2.39	3.45
69	岩井戸鉱泉	11/13	1.39	1.88
70	富岡工業団地	11/13	1.78	1.74
71	成沢の滝入口	11/13	1.50	2.07
72	沼名子橋	11/12	2.71	3.82

測定器:γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

埼玉県杉戸町から暖かい善意



宮本町長に義援金を手渡す杉戸町・古谷町長(左)

富岡町と友好都市提携を結ぶ埼玉県杉戸町並びに、杉戸童謡を歌う会「藍の会」より、義援金をいただきました。

杉戸町からの義援金は、11月3日に行われた同町産業祭で贈呈され、古谷松雄町長が宮本町長に目録を手渡しました。

また、藍の会から贈られた義援金は、7月に同会が開催したチャリティー音楽会で集まった浄財で、義援金と共に「富岡町の皆さまのために お役立てください。いつか富岡と杉戸の両町民で一緒にコーラスを歌いましょう。頑張ってください」とのメッセージが添えられました。

義援金をいただいた企業・団体・個人名(平成25年9月~10月分 順不同・敬称略)

- ・これまで寄せられた義援金 5億1,935万6,376円(10月末日現在)
- ・配分された額(国、県義援金は除く) 2億3,994万円(10月末日現在)

井川自転車店(東京都) 壇信徒一同(京都府) 林武(茨城県) 品川区長 濱野健(東京都) NPO法人アジアありがとう支援基金理事長 弓場英治(兵庫県) 株式会社エフエム東京(東京都) 津軽三味線無弦塾 井坂斗絲幸(茨城県) 加賀谷健(千葉県) 岩松俊哉(神奈川県) 千葉県多古町議会議員 所一重(千葉県) ヒサキヤスヒロ イトウヒデカズ チバマスオ アシッドマン(東京都)

行くぞ! 国立競技場 富岡高校サッカー一部 皆さまのご支援をよろしく願っています

富岡高校サッカー部は、皆さまのご声援のおかげをもちまして第92回全国高校サッカー選手権大会に出場する運びとなりました。つきましては、下記のとおり出場協賛金の募集を行っておりますので、富岡町民の皆さまの温かいご理解とご支援、ご協力をよろしく願っています。

- ・協賛金募金目標額:1,000万円
- ・募金額 個人会員 一口3,000円以上 法人会員 一口10,000円以上
- ・口座名義 富岡高校全国高校サッカー選手権出場後援会

【郵便局からの振替】口座番号・記号 02290-3-136745

【銀行等からの振替】ゆうちょ銀行二二九店(店番:229) 当座預金 0136745

※なるべく郵便振替をご利用ください。記念誌等に名前掲載を希望されない方は、「希望しない」と記載してください。なお、銀行口座へのお振込みを希望される方は、下記問合せ先までご連絡ください。

応援募集を行います。詳細は本校ホームページで近日発表いたします。

One Heart 福島県立富岡高等学校

問合せ先 福島北高等学校サテライト 担当 教頭 小針 幸雄
〒960-0201 福島市飯坂町字後畑1 ☎024-542-4315



発行／富岡町
編集／富岡町役場企画情報統計係
〒963-0201 福島県郡山市大槻町宇西ノ宮48-5
TEL: 0120-33-6466 FAX: 024-961-3441

富岡町公式ホームページ <http://www.tonioka-town.jp/>
Eメールは富岡町役場公式ホームページの「Eメールはこちらから」をクリックし、各課あてにお送りください。
郡山駅前9番乗場発 新池下団地行き または 大槻行き 停留所 西の宮停留所

「作品づくりは生きがい作り」写真提供 富岡町さくらサロン(福島市)



サロンを利用される皆さんが作った作品の数々です。いろいろな材料を使ったすばらしい出来栄で、中央のお地藏様は濡らした新聞紙に糊を混ぜて作りました。

当サロンは誰でも自由にご利用できます。皆様のお越しをお待ちしております。

富岡町さくらサロン
スタッフ 堀川ヤイ子さん

富岡第一中学校 昭和63年度(第42回)卒業生同窓会 開催のお知らせ

下記の日程により、男性本厄の厄流し神事及び同窓会を開催いたします。久しぶりに旧友と再会し、楽しい時間を過ごしましょう。なお、詳細につきましては後日ご案内を郵送、またはご連絡を差し上げますが、郵送先が中学校時代のご住所あてにならざるを得ない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- ・日 時 平成26年1月3日(金)午後予定
- ・場 所 いわき市 カルチェド シャン・ブリアン
神事：同館内 神殿(華燭殿) 同窓会：同館2階 フェリカシーヌ
- ・代表幹事 藤館克共(携帯 090-8786-3583) 武田友美(旧姓：和田)

富岡第二中学校 昭和63年度卒業生の皆さまへ 同窓会開催のお知らせ

私たち富岡第二中学校昭和63年度卒業生の全クラス合同による同窓会を、下記のとおり開催する運びとなりました。つきましては、徐々に近況などを語り合い旧交を温めると共に、親睦を深めたいと思います。多くの皆さまにご参加いただきますよう心よりお待ち申し上げます。

- ・日 時 平成26年1月3日(金)14:00～16:00(受付 13:30～)
- ・会 場 いわきワシントンホテル椿山荘(いわき市平字1丁目1番地)
- ・会 費 男性 10,000円 女性 9,000円(当日お支払いください)
- ・申 込 先 「同窓会ネット」☎0120-100-378
※本会の開催にあたり、同窓会企画会社「同窓会ネット」に案内状など事務的な業務を委託いたしました。
- ・締 切 日 平成25年12月12日(木)※期日厳守
- ・連 絡 先 宮本秀範 miyabeer0920@yahoo.co.jp
半谷美津穂(旧姓：林) lemonko2007@yahoo.co.jp

— 今月の表紙：「富高サッカー一部、5年ぶりの全国へ！」 —

スタンドの大声援に背中を押され、躍動する青のユニフォーム。全国の舞台が君たちを待っている！



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。